

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	陳 情 第 6 8 号
件 名	地域コミュニティ協議会の支援のあり方検討委員会のとんでもない市民の知る権利を侵した会議録について
要 旨	<p>平成 26 年 8 月 29 日（金）午前 10 時から市役所本館 6 階第 4 委員会室において、委員 15 名、傍聴者 11 名（報道 3 名含む）、他部局職員の下で、第 5 回上記委員会が開催された。その会議の終盤において学識経験者は、「住民の意見はコミュニティ協議会がチェックする。」と主張して、自らが作成準備した略図（別添付 A－図 1、図 2）を呈して説明した。その説明の冒頭で、【実は、この図は、住民に見せたくて、ずっと企んでいた図でございます。】と発言している。</p> <p>さらに、この【ずっと企んでいた】部分を削除した会議録（別添付 B－第 5 回地域コミュニティ協議会の支援のあり方検討委員会会議録新旧対照表）が市民に公表されたものである。“企む”の意は、【悪意の計画、くわだてる。】（小学館新選国語辞典）であり、学識経験者としての見識が疑われる。</p> <p>なお、公開会議における情報公開については、別添付 C－「新潟市附属機関等に関する指針運用の手引き」第 4 章第 11 条 3 項で、【……会議の内容を要約せずに、会議の冒頭から終了までを会議の進行に従って全て記載した形式のものです。】と規定されている。したがって、同委員会における協議内容は、資格のない低級な委員が、市民の知る権利を侵した極めて悪質な委員会であることを問題提起する。</p>
付 託 年月日 委員会	令和 2 年 3 月 6 日 市民厚生常任委員会
受 理	令和 2 年 2 月 26 日 第 675 号